

# 岐阜の3きょうだい、夢実現

## ホッケー五輪代表に



七日発表された東京五輪のホッケー日本代表。女子はFW永井友理選手(左)＝写真①＝と妹のMF葉月選手(中)＝同②、ともにソニーHC、岐阜県各務原市＝が、男子は末っ子のMF祐真選手(右)＝同③、岐阜朝日クラブ、同＝が選ばれた。「3きょうだいで五輪に出場し、マイナー競技のホッケーを盛り上げたい」と練習してきた家族の夢が、一つ実現した。(大山弘)＝④面参照

## 父は元監督、母も代表経験

高(岐阜市)の入学後。経験や技術の不足を、スピードとスタミナを生かした出足の鋭い守備力で補い、代表をつかみ取った。「祐真の代表入りは、五輪が延期された期間中に課題だった攻撃力を伸ばすことができたから」と祐真さん。「友理と葉月はリオ五輪など国際大会の経験、祐真は守備力。持ち味を発揮してほしい」と、三人そろっての活躍を期待した。

父の祐真さん(左)は二〇一六年リオデジャネイロ五輪の女子代表監督、母の理重子さん(中)も元代表選手というホッケー一家だ。姉と妹は小学生で競技を始め、友理選手は点取り屋、葉月選手は司令塔として各世代代表で活躍。リオ五輪には親子二人で選手団に入り、姉妹は東京五輪の出場も確実視されていた。

一方、祐真選手が競技を始めたのは、岐阜総合学園

### きょうの聖火リレー

